

実践② 個々の児童の経験や体験を共有するための教材の工夫

算数科 第1学年「かたちあそび」(5時間扱い)

目標：身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形についての理解と基礎となる経験や感覚を豊かにする。

○単元の流れ

かたちをつくろう (第1時)

いろいろな形の箱を使って、作りたいものを作る。

ボールはどこに使う。



おしろの柱は、ポテのつつ(円柱)を使おうよ。

<おしろ>

たかいタワーをつくろう

(第2時：本時)

12個のいろいろな形を使って、高いタワーを作る。



ラスク(直方体)は、この向きでいいかな。



ピンポン玉(球)は、どこにおけばいいかな。

ポテのつつ(円柱)は、立てて使おうよ。

なかまわけをしよう (第3時)

形に着目していろいろな立体(直方体、立方体、円柱、球)を、2つに仲間分けしたり、3つに仲間分けしたりする。



<直方体・立方体・円柱と球>



<直方体と立方体・円柱と球>

かたちをうつして えをかこう

(第4、5時)

円柱の丸い面や、直方体や立方体のいろいろな面を写しとって、その形を生かした絵を描く。



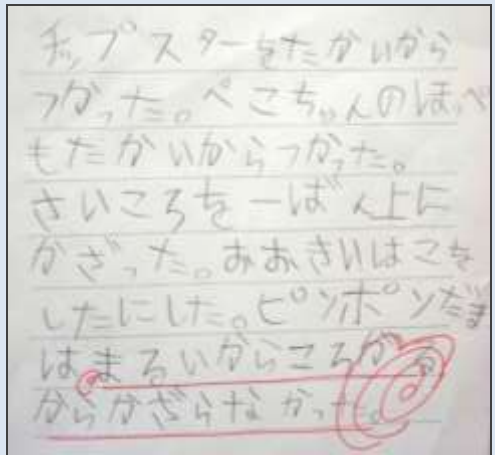
○本時（第2時）の冰山モデル

茶色い箱を横にして使ったから、1回目よりも高くなったかな。



サイコロは、小さいから一番上に置いたよ。

<くふうしたことやわかったこと>



いろいろな形の立体図形
直方体・立方体・円柱・球

いろいろな大きさの直方体を用意する。

「友達の考えを聞いて、1回目よりも高いタワーを作りましょう。」

「高いタワーを作りましょう。」



表現
思考 判断



顕在

潜在



・第1時の体験（箱を使った遊び）



- ・積み木遊び
- ・折り紙遊び
- ・生活経験（箱の置き方 など）
- ・ボール遊び

きりんの足は、シュークリームの箱を使ったよ。おしりのところは、カレーの箱を使ったよ。

○算数科 第1学年「かたちあそび」(2/5時)

学習活動の流れ

1. 前時の学習を振り返る。

昨日は、箱を使っていろいろなものを作ったね。Fグループがこんなものを作っていました。



すごい！僕たちも、高いタワーを作りたい。

2. 12個の箱を使って、高いタワーを作る。

今日使える材料は、これだけです。グループで工夫してできるだけ高いタワーを作りましょう。



どれを使おうかな。

平べったいのを下にしようよ。



ああ～たおれちゃう。



転がってしまうピンポン玉を一番上に置いたよ。



3. 工夫したことをグループごとに発表する。



高く積む時に、どんなことを工夫したでしょうか。



シュークリームの箱は縦に長いので、立てました。

おかしのはこは、大きいので下に置きました。



ポテトのつとチーズは横にすると転がるので、立てました。

ピンポン玉は、転がるので、使いませんでした。

一番上に、うまく乗ったよ。

ねらい：箱などの身の回りの具体物の概形をとらえ、立体図形の特徴や機能を知る。

4. 友達の考えを基に、1回目よりも高いタワーを作る。

5. 勉強して分かったことをまとめる。

友達の考えを聞いて、1回目よりも高いタワーを作りましょう。



大きな箱を下に置くと、たおれにくくなったよ。ポテトのつつは、縦にするといいね。



おおきいはこを下にやりました。あんていするからです。さいころのはこをいちばん上におきました。ほかのはこを上へのせると、くずれるからです。シュークリームのはこをたてにしました。よこにするとたかくなるからです。

シュークリームのはこを縦に置くと高くなるね。



完成。

一番小さいさいころは、一番上に置いたよ。



あっ1回目よりも高くなってるよ。やったあ。



【板書】

